

依頼の趣旨

東京都水道局では、21世紀を支える水道を構築するため、平成9年5月に「東京水道新世紀構想 - STEP 21 - 」を策定し、高度浄水処理の導入や送配水管ネットワークの整備など施設整備を着実に進めている。

一方、「東京水道新世紀構想 - STEP 21 - 」策定後、概ね10年が経過し、近年の「安全でおいしい水」に対するニーズの高まりや首都直下地震への対策に加え、水道施設の老朽化や環境負荷の低減などが大きな課題になっている。

そこで、「東京水道新世紀構想 - STEP 21 - 」及びこれらの状況を踏まえ、今後、一層の給水サービス水準の向上、社会・環境保全への貢献など、幅広い視点を取り入れた、概ね四半世紀後を見据えた新たな水道施設整備の長期構想を策定することとした。

長期構想を策定するに当たり、幅広い知識をもつ学識経験者や日々水道を使用するお客さまから意見や提言を受けることとした。

今回、「首都東京にふさわしい将来の水道システムを考える会」の委員の皆様、「首都東京にふさわしい将来の水道システム」のあり方について調査検討をお願いするものである。